



**株式会社アビスト**  
**CSR Report 2015**

## 編集方針

---

「CSR Report 2015」は、アビストの企業理念、事業内容、CSR それぞれの関連性、および CSR への取り組みをまとめたレポートです。当社がどのような思いで CSR に取り組んでいるのか、そのポイントや課題は何かについて、ステークホルダーの皆さまにお伝えすることにより、ステークホルダーの皆さまと当社との建設的な対話を促進し、当社の CSR への取り組みを継続的に改善することを目的として本レポートを発行いたします。

## 対象期間

---

2014 年 10 月～2015 年 9 月

(一部、2014 年 10 月以前の活動や発行日直前の状況も含めています。)

## 報告範囲

---

アビストおよび連結子会社の活動

## 発行時期

---

2015 年 12 月

## CONTENTS

### 01 CSR Report 2015 について

- 01 編集方針、対象期間、報告範囲、発行時期
- 03 社長メッセージ
- 04 アビストの概要
- 05 企業理念
- 06 CSR 方針・推進体制

### 02 トピックス

- 01 3Dプリント海老名事業所開設

### 03 社員がイキイキと働くことができる仕組み作り

- 01 福利厚生制度
- 02 社員表彰
- 03 携帯情報端末の貸与
- 04 社員勉強会や運動会

### 04 社会貢献

- 01 3Dプリンター体験会、大学との産学連携
- 02 障害者の職場実習受け入れ、クリーン・ボランティア活動

### 05 人権の尊重

### 06 ステークホルダーエンゲージメント

### 07 環境保全

### 08 コーポレート・ガバナンス

- 01 コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方 . . .
- 02 リスクマネジメント
- 03 コンプライアンス
- 04 コンプライアンスガイドライン

## 社長メッセージ

---

アビストは本年3月に東証一部上場企業となりました。  
これもひとえにステークホルダーの皆さまのご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。

当社は『コンプライアンス、CSRの遵守と社会貢献』を事業目的の一つとして掲げ、市場一部銘柄にふさわしい企業になることができるように、企業の責任を重く受け止め、CSRの推進に努めてまいりました。これからも、社会市民の一員として、責任を果たしさまざまな貢献ができるようCSRに継続して取り組んでいきます。

第10期(2014/10～2015/09)は、東証一部指定だけでなく、受託設計部の新設などの組織の大幅な改変、3Dプリント専用事業所の開設、システム開発部の設置準備などさまざまな挑戦をおこないました。今後も新たな価値を創造し続ける企業として成長できるよう努力していきたいと考えています。

引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

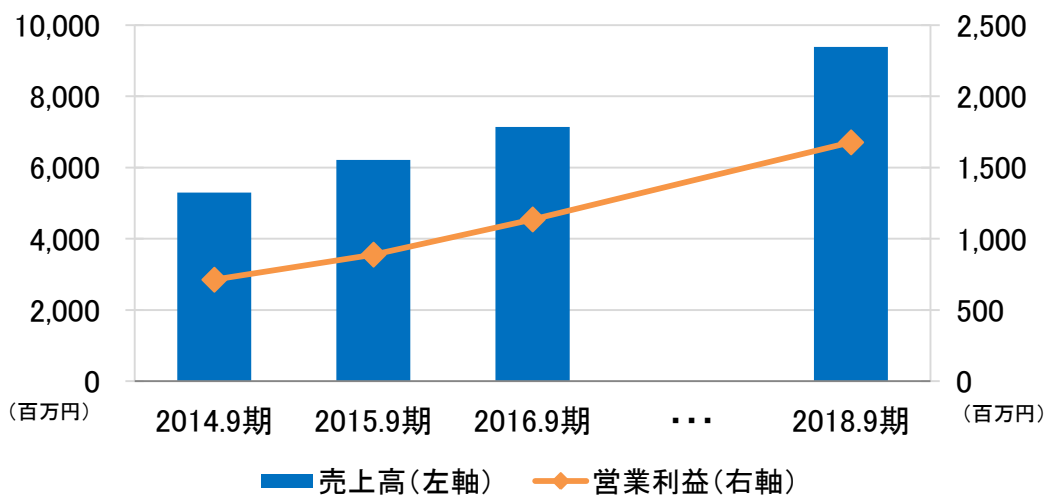
2015年12月  
株式会社アビスト  
代表取締役社長  
**進 勝 博**



## アビストの概要

社名	株式会社アビスト (ABIST Co.,Ltd.)
本社	〒165-0026 東京都中野区新井2丁目6番13号
設立	2006年3月17日
代表取締役社長	進 勝博
資本金	10億2,665万円
社員数	873名(2015年9月末現在・連結)
事業内容	・工業設計技術サービス事業 ・3D-CAD 教育事業
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 証券コード: 6087

連結業績	2014年 9月期	2015年 9月期	2016年 9月期 (予想)	...	2018年 9月期 (中計)
売上高(百万円)	5,300	6,215	7,141	...	9,387
営業利益(百万円)	713	889	1,136	...	1,677
売上高営業利益率	13.5%	14.3%	15.9%	...	17.9%



## 企業理念

### 創業の精神

設計技術者が設計技術者のために働き合う設計技術者の集団を確立する

- ・自らが汗して、苦勞して、実体験して道無き道を踏破し、そのナローな道から光明を得る。
- ・人が嫌がる道を敢えて進んで独自の道を切り拓く。
- ・易しい事ができてその価値は小さい。
- ・やりにくい、難しい事をやり遂げ、価値あるものになる。
- ・人の真似はしない。智慧を加えて、似て非なるものを求める。
- ・四分の利があれば、伸るか反るか、大勝負。臆病風に誘われてはいけない、是非を忘れて最後までやりぬく。

### 事業目的

1. 取引先の信頼と安心の確保に基づくサービスの提供
1. 社員の生活向上と安定の確保
1. コンプライアンス、CSRの遵守と社会貢献

### 経営理念

- |      |                           |
|------|---------------------------|
| 顧客主義 | 取引先との共生による<br>パートナーシップの確保 |
| 社員主義 | 社員の自主自律による<br>価値創造の確保     |
| 成果主義 | 機会平等と評価公平性の確保             |

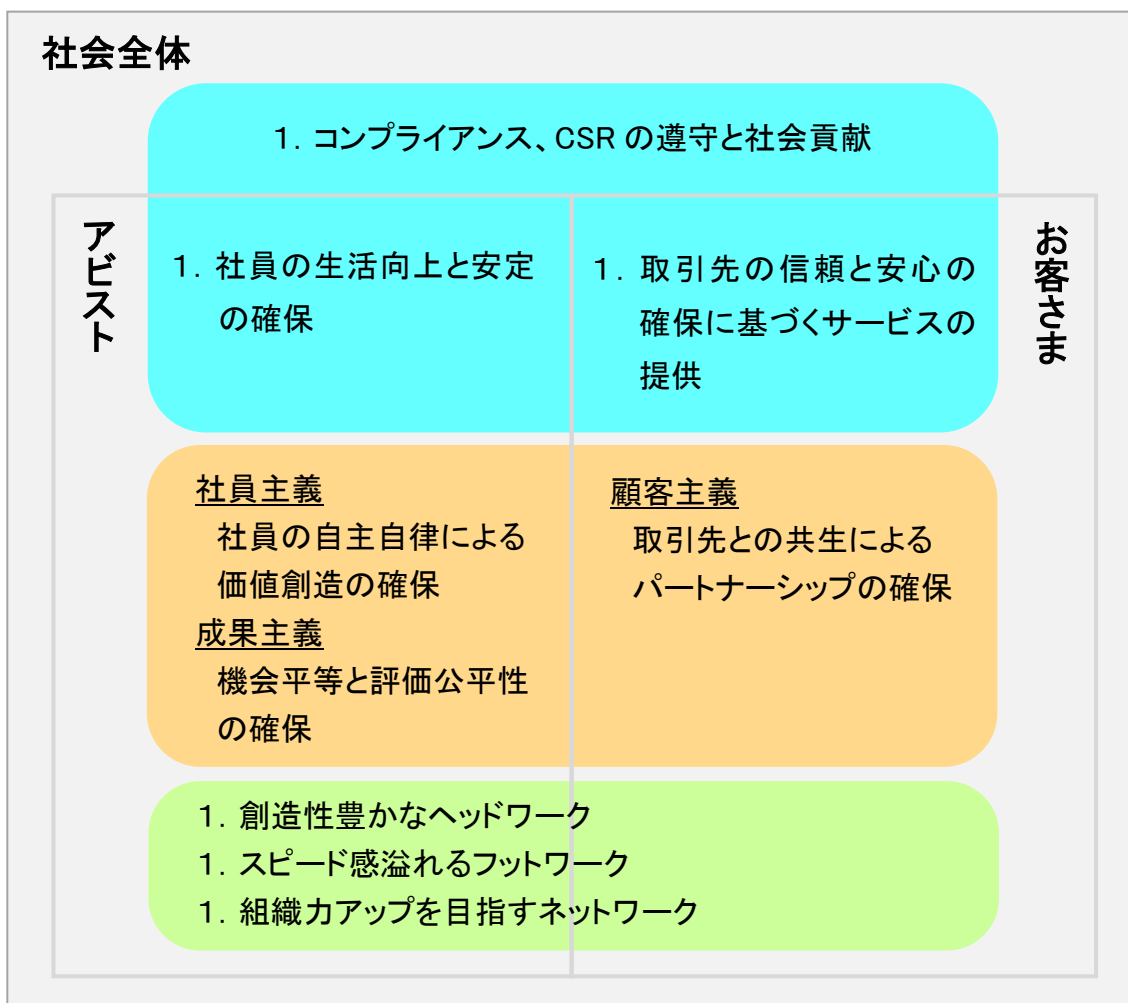
### 三信条

1. 創造性豊かなヘッドワーク
1. スピード感溢れるフットワーク
1. 組織力アップを目指すネットワーク

## CSR 方針・推進体制

アビストの事業目的は、社会全体、お客さま、当社の社員、の 3 つに対しバランス良く貢献することを表しています。経営理念と三信条は事業目的を具現化するための考え方と行動指針になります。特に事業目的の「コンプライアンス、CSR の遵守と社会貢献」については、法令や社会倫理に従い、責任を果たしていくことにより、社会に貢献していくことを表明しています。アビストは、事業目的の通り、社会全体、お客さま、当社の社員、のそれぞれに貢献していくことを目指し、CSR を推進いたします。

CSR の推進を総務部の業務と規定して推進主体を明確にし、取締役会と連携することにより全社的な活動をおこないます。

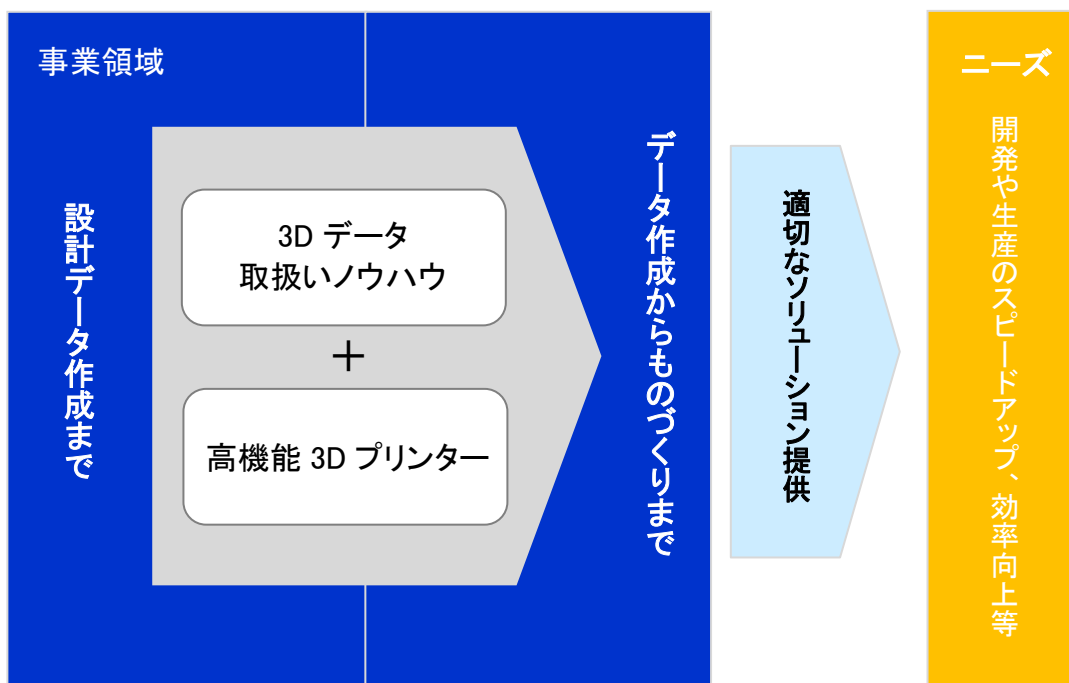


## 3Dプリント海老名事業所開設

2015年3月に3Dプリント専用事業所を神奈川県海老名市に開設しました。本事業所は、アビストの強みである、3Dデータの取扱いノウハウと、技術革新の進む3Dプリンターとを融合し、先進的なものづくりをおこなう戦略拠点です。

アビストは、現在700名を超える3D-CAD技術者が設計業務に取り組んでいます。本事業所開設により、従来の「設計データ作成まで」という事業領域を「データ作成だけでなくものづくりまで」に拡大しています。

開発や生産のスピードアップ、効率向上等のニーズはますます高まっています。アビストは事業領域拡大により、お客さまに適切なソリューションを提供いたします。





現在、精密・耐熱性・透明度・カラー出力など、特徴の異なる 4 台の樹脂系 3D プリンターが稼働しています。各機種の特徴により、製造業のお客さまから個人のお客さままで幅広いニーズに対応することができます。金属 3D プリンターについても、機種を選定が完了し、2016 年 4 月の導入に向け準備をしています。

### 稼働中の 3D プリンター

			
[3D プリンター] アジリスタ (キーエンス)	[光造形機] ATOMm-8000 (シーメット)	[粉末床溶融結合装置] ラファエロ 550 (アスペクト)	[3D プリンター] Connex3 (ストラタシス)

### 導入予定の 3D プリンター

[金属粉末造形装置] ProX 300 (3Dsystems 社製)

本年 6 月には大学生を対象とした、3D プリンター体験会を開催いたしました。また、大学への協賛も実施しています。(詳細は 04 社会貢献ページ)

事業所開設以来、既存のお客さまのランプメーカー等の 3D プリント案件に対し積極的な受注活動をおこなうとともに、医療系やホビー系の新規のお客さまに対する提案活動を実施し、受注案件を徐々に積み上げています。

# 社員がイキイキと働くことができる 仕組み作り

社員がイキイキ  
と働くことができ  
る仕組み作り

03

01

## 福利厚生制度

アビストは設立当初から、確定拠出年金、従業員持株会、サークル活動支援、福利厚生パッケージプラン、慶弔見舞等、社員の在職中から退職後までを考慮した福利厚生制度を運用してきました。2014年4月に、社員が今まで以上に安心して、意欲をもって仕事に打ち込むことができる環境づくりを目的とした、ライフサイクルの節目のお祝い等の福利厚生制度の大幅な拡充をおこないました。

### 拡充した福利厚生制度の例

- |            |            |           |
|------------|------------|-----------|
| ■結婚記念日祝金   | ■マイホーム購入祝金 | ■持家社員帰省旅費 |
| ■育児手当      | ■自動車購入祝金   | ■積立年休     |
| ■入学祝金・成人祝金 | ■傷病見舞金(家族) | ■持株会奨励金増額 |

### アビストが支援するサークル活動

 <p>フィッシングサークル</p>	 <p>バスケットボールサークル (東日本)</p>	 <p>野球サークル</p>
 <p>サッカーサークル</p>	 <p>アプリ開発サークル</p>	 <p>バスケットボールサークル (西日本)</p>
 <p>ゴルフサークル</p>	 <p>アウトドアサークル</p>	

## 社員表彰

アビストは社員一人ひとりの努力を積み上げることによって、東証一部企業にまでなりました。がんばった社員にスポットライトをあて、社員全員で称賛すること、就業場所が異なるために近況を聞くことができない他の社員の様子を知ることができること等を目的として、優秀社員表彰や永年勤続表彰等をおこなっています。



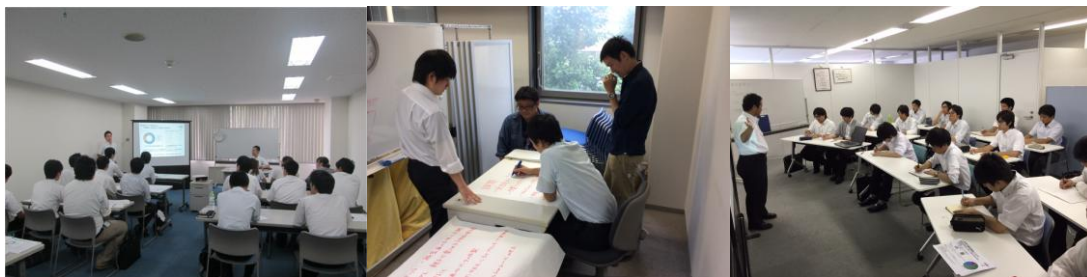


## 携帯情報端末の貸与

アビストは事業形態上、社員の就業場所が社内外に分散します。各事業所にて定期的な面談やイベント開催などの、社員同士の信頼の和の構築のための施策を実施しています。情報を共有し、信頼の和の構築を補完することや、社内手続きの効率化のため、社員全員に携帯情報端末を貸与しています。携帯情報端末は、就業場所の条件などにより、iPad もしくはスマートフォンを選択します。

## 社員勉強会や運動会

社員数が増えていく中で、課題となるリーダー育成や、経営方針の浸透・理解、社員の交流、などを目的として、各事業所にてリーダー研修や経営方針研修などを実施しています。



愛知地区では、数年前から構想があった運動会を本年 7 月に開催しました。バスケットボール、バドミントンなどのチーム対抗戦をおこない、社員、家族も含めて 100 名を大きく超える参加がありました。



## 3D プリンター体験会

本年 6 月に大学生を対象にした 3D プリンター体験会を 3D プリント海老名事業所にて開催いたしました。それぞれの 3D プリンターの機能や特徴の説明、3D データの作成～3D プリント～サポート材除去といった一連の成形体験をおこないました。



## 大学との産学連携

東海大学工学部の産学連携による公募型問題解決コンペ「ものづくり学生サミット in 湘南」に協賛いたしました。このコンペは、学生が企業から出題された実務や将来に向けた課題にチャレンジし、問題解決能力の高い人材を育成しつつ、新しい発想による研究成果を発掘することを目的に企画されています。(東海大学新聞 2015 年 4 月 1 日引用) アビストは、『「3D-CAD」&「3D プリンタ」での「東海大学工学部ゆるキャラ(非公認)」の考案・作成』を課題としました。

ゆるキャラ作成という、くだけた課題になりますが、未経験の学生にとっては大変な作業です。通常の大学講義もあるなかで、なかには当社に 4～5 回も訪問して 3D-CAD 基本操作の教をを請い、やっとの思いで課題モデルを完了させたチームもありました。なお、当社課題には 6 チームが挑戦しましたが、途中で断念するチームも続出し、最後まで遂行したのは 3 チームのみという結果でした。

## 障害者の職場実習受け入れ

---

本年6月に本社にて約2週間、障害者の職場実習をおこないました。この実習は、中野区障害者福祉事業団と協力し、障害者が会社復帰に向け働くことへの自信をつけていただくことを狙いとしています。アビストの社員の指導のもと、書類をスキャンしファイルリネームするという電子化作業を実習しました。実習前はコミュニケーションを取ることができるのか、受け入れてもらえるのか、といった不安が実習生にはあったようです。実習が始まると、すぐ職場にも慣れ、仕事の内容や作業の工夫などを事業団の方に楽しそうに説明し、実習を通じ、仕事に復帰できる、復帰したいと思えるようになったとのことでした。

## クリーン・ボランティア活動

---

アビストは平成21年1月より、本社及び全国各地の当社事業所において、役職員有志による毎朝始業前の地域清掃活動(クリーン・ボランティア活動)を行っております。活動を開始してから、本社所在地は豊島区から渋谷区へ、さらに中野区へと移転しましたが、途切れることなく続けられ、このクリーン・ボランティア活動は当社の企業文化としてしっかりと定着いたしました。

東京都渋谷区では、「きれいなまち渋谷をみんなで作る条例」を制定し、きれいなまちづくりのための組織づくりや啓発活動などを推進していますが、今般、当社による環境美化活動の功績が認められ、2014年2月18日に渋谷区長より感謝状と記念品をいただきました。

## 基本的な考え方

---

社員一人ひとりの集合が企業であり、アビストの設計開発アウトソーシング事業は事業特性上、特に人材の重要性が高いと考えています。アビストの人権についての基本的な考え方は以下の通りです。

人権は、すべての人に必ず属する。  
人権は、放棄することも剥奪することもできない。  
人権は、国籍、性別、地位などにかかわらず適用される。

アビストは、「コンプライアンスガイドライン」にて人権尊重を規定しています。万が一、差別など人権を侵害する行為が発生した場合の通報窓口として「公益通報制度」を設置しています。



## 基本的な考え方

アビストは事業目的にて、社会全体、お客さま、当社の社員、に対し貢献していくことを表明しています。事業目的を達成するためにステークホルダーを含めた「信頼の和の六輪づくり」に継続的に取り組んでいます。

アビストは、ステークホルダーを認識し対話をおこなうことにより、アビストの活動がステークホルダーに対しどのように貢献しているのか、また、どのような影響を与えているのか、理解する努力をいたします。自らの活動の影響度合いを把握したうえで、継続的に活動の改善をおこないます。

ステークホルダー	関係等
株主	IR 情報、株主総会、アナリスト・機関投資家向け決算説明会、個人投資家向け会社説明会、投資家との個別面談
お客さま	エリアごとの事業所配置、営業担当者の任命
大学関係者	エリアごとの事業所配置、採用担当者の任命
取引先	エリアごとの事業所配置
社員	社員面談の実施、勉強会・イベント開催、評価制度の運営
地域社会	クリーン・ボランティア活動、お祭りへの協賛

ステークホルダーとの共通の窓口として、広報室を設置し、ホームページによる情報発信や、電話・Eメールによる個別のお問い合わせへの対応をおこなっています。

## 基本的な考え方

---

自動車業界におけるクリーンエネルギー車の開発など、製造業による環境問題への取り組みに、設計開発技術で貢献します。日々の企業活動においても環境意識の向上を図り、電気や水の節約、紙や文房具の再利用、ゴミの分別廃棄など、できることを一つ一つ着実に実行していきます。

## 自社賃貸物件の照明 LED 化

---

アビストは渋谷区富ヶ谷に賃貸物件を保有しています。2012年に地下1階から3階までの蛍光灯230灯をすべてLED照明に交換いたしました。

## 本社、事業所の電気使用量把握

---

省エネは使用量を把握することから始まると考え、本年より本社、事業所にて電気使用量のリスト化をおこなっています。

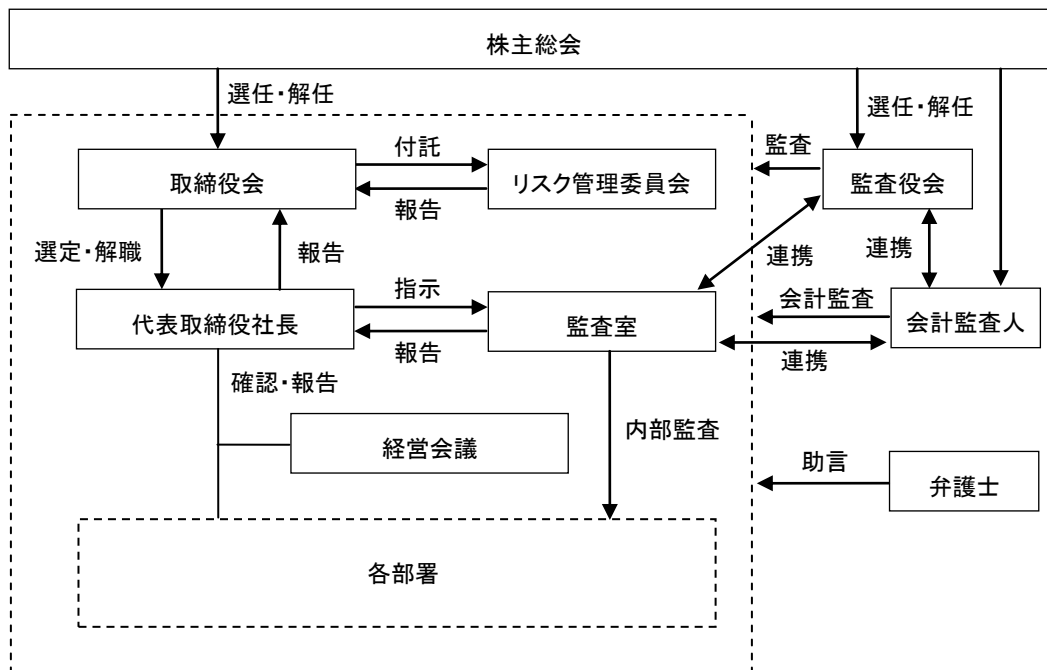
## コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

開かれた、健全で透明な企業活動を行いつつ、企業価値の増大と持続的発展を目指すことが、経営上の最も重要な課題であり、それを実現するためには、経営上の組織体制やその仕組みを整備し、必要な施策を講じていくことが不可欠であると認識しております。

## 会社の機関の内容及び内部統制システムの整備の状況等

当社は監査役制度を採用しております。コーポレート・ガバナンスの充実のために、株主総会の充実、取締役会及び監査役の一層の機能強化を図るとともに、積極的かつ継続的な情報開示に取り組んでまいります。

当社のコーポレート・ガバナンス体制及び内部統制体制の概要は以下の図の通りです。



## リスクマネジメント

---

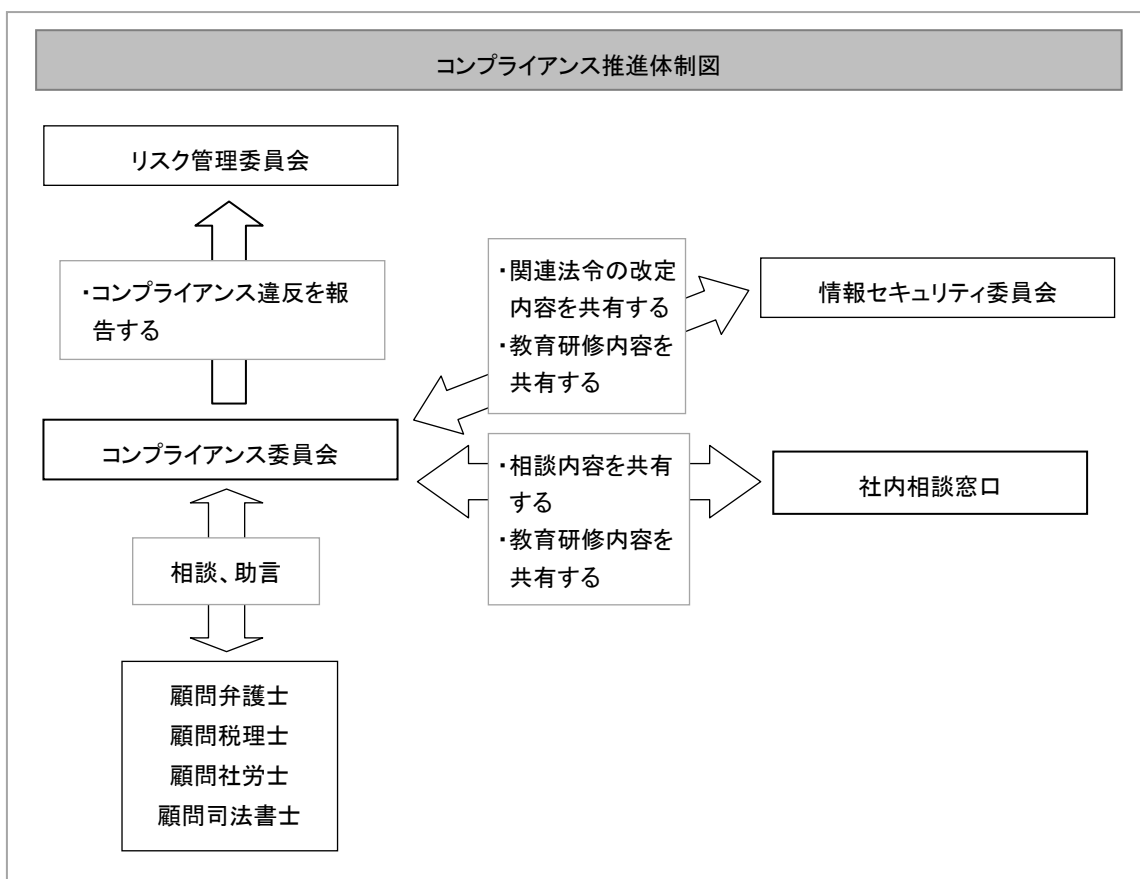
当社は、リスクマネジメントの確立に向けて「リスク管理規程」を制定し、リスク及び危機発生時の迅速・的確な対応ができるよう「リスク管理委員会」を設置しております。リスク管理委員会においては、対象リスクの識別・評価を行い、定期的に取り締役に報告し、常に適切な対応をとるべく努めております。さらに、リスク管理及びコンプライアンスの徹底を図るため、取締役会、その他の会議にて情報を共有し、各役員から社員までリスクの早期発見と未然の防止に努めております。特に、情報の管理において当社は情報セキュリティマネジメントシステム（ISO/IEC 27001）の認証を取得しており、情報セキュリティ体制には万全を期しております。また、コンプライアンスの徹底については社員の入社時、派遣開始時、朝礼時、各会議時及び社内報等を通して全社員にその意識付けを頻繁に実施しております。今後も社会の信頼に応える高い倫理観を持って行動すべく全社員にリスク管理及びコンプライアンスに対する意識の向上を図ってまいります。

また、不測の事態への応用力を向上させることを目的として、事業継続計画書（BCP）を策定し、定期的に見直しをおこなっています。東日本大震災発生時に通常の連絡方法が利用できなくなったことを教訓とし、BCPに基づき、SNS等を利用して定期的に災害時の連絡訓練をおこなっています。

なお、当社は弁護士等の外部専門家と顧問契約を締結し、適宜、重要な法的判断、コンプライアンス等に関して、助言と指導を受けております。

## コンプライアンス

コンプライアンス規程を制定し、それに基づき全体的推進計画を策定しています。また、「コンプライアンス」とは、法令、社内規則および企業倫理の厳守となりますが、それは、不必要な規則で縛ることではなく、法令や当社の実態にあわせて、社内規則をわかりやすく具体的なものに改定することや、コンプライアンスの精神を社員一人ひとりに浸透させることで推進すると考え、毎期、推進計画を策定しています。コンプライアンス委員会を四半期ごと(12月、3月、6月、9月)に開催し、必要がある場合は臨時開催しています。社内相談内容の共有、問題への対応検討、社内規則等の改定検討、社内周知方法、社内浸透状況の把握等をおこなっています。教育研修計画を作成しコンプライアンス研修等の充実を図っています。



# コンプライアンスガイドライン

本ガイドラインは、企業活動において法令や社会規範に反することなく、公正・公平に業務を遂行するための行動規範です。株式会社アビストの役員および社員は、本ガイドラインを実践することが当社の健全な発展に不可欠であることを認識し、自らの行動、そして会社業務としての活動において、率先垂範し、これを遵守していかねばなりません。

## 1. 総則

### 法規範の遵守

企業としての信頼性の向上および株主尊重の重要性を認識し、国内外の法令を遵守することはもとより、当社に求められる企業倫理を十分に認識したうえで、社会規範を尊重し、社会人としての良識と責任をもって行動します。また、社外で業務を行う場合には、お客様が定めるルールや規範などを遵守し、自らの行動が会社全体に影響を与えるものであることを自覚し行動します。

## 2. 社会との関係

### 社会への貢献

地域社会への協力、ボランティア活動への参加などを通じて、積極的に社会貢献活動を実践し、企業市民としての役割を果たします。

### 環境問題への取り組み

自動車業界におけるクリーンエネルギー車の開発など、製造業による環境問題への取り組みに、設計開発技術で貢献します。日々の企業活動においても環境意識の向上を図り、電気や水の節約、紙や文房具の再利用、ゴミの分別廃棄など、できることを一つ一つ着実に実行していきます。

### 反社会的勢力の排除

法令と良識に基づいて行動し、暴力団に対する利益供与など法令上の禁止行為を行わないことは勿論、反社会的勢力との関係は一切遮断します。反社会的勢力からの不当要求に対しては、警察並びに公益社団法人警視庁管内特殊暴力防止対策連合会などと連携のうえ組織として透明性のある対応を行い、事実を隠蔽するための裏取引や資金提供は絶対に行いません。

## 3. お客様や取引先との関係

### 二重派遣・偽装請負の禁止

派遣先から他社へ再派遣され、指揮命令権が再派遣先にあるような「二重派遣」は行いません。また、契約上は業務請負の形をとりながら、指揮命令権が注文主にある「偽装請負」は行いません。

### 購入先との適正な取引

購入先との取引においては、良識と誠実さをもって接し、公平かつ公正に扱います。また、取引先に業務委託を行う際には、下請法を遵守し、支払遅延などの行為を行わないよう留意します。

## 4. 株主や投資家との関係

### 企業情報の適時・適切な開示

会社法をはじめとする関係法規および規則などを遵守し、企業としての信頼性の向上および株主尊重の重要性を十分に認識し、適時適切な情報開示によって企業活動の透明性を確保します。また、Web 上での情報開示などを活用し、当社の経営理念や事業内容、ビジネスモデルなどを積極的に情報発信します。

### インサイダー取引の防止

インサイダー取引を未然に防止するため、インサイダー取引規制の役員及び社員への周知徹底および自社株取引に関する社内ルールの厳守を図ります。取引先に関する未公表の重要事実を知った場合には、インサイダー取引に関与することが絶対にないよう、公表されるまで厳重に情報管理します。

## 5. 職場における指針

### 人権尊重・差別禁止

常に健全な職場環境を維持することに努め、各自の人権を尊重し、差別につながる行為は一切行いません。また、人種、民族、国籍、宗教、性別、心身の障害の有無、健康状態、職種、雇用形態の違いなどによる差別は行いません。

### セクシャルハラスメント・パワーハラスメントの禁止

性的嫌がらせ、他人に性的嫌がらせと誤解されるおそれのある行為、職務上の地位や権限を利用して他の者の人格や尊厳を侵害する行為は一切行いません。また、他の者がこのようなことを行わないよう、社内の風土づくりに努めます。

### 職場の安全衛生

安全・衛生に関する法令などを遵守するとともに、衛生管理年間計画や心の健康づくり推進計画にもとづいた活動を行うことにより、心身の健康状態を良好に保ち、安全で衛生的な職場環境の整備に努めます。

### 労働時間の厳守

社員は労働三法などの労働関係法を遵守し、労働時間、有給休暇などに関する報告を正確に行います。また、職場上長は部下の勤務日や勤務時間の管理を徹底します。

### 安全運転の徹底

交通事故は当事者の苦痛はもとより、社会への影響も少なくないこと、当社の事業の性質上、自動車を利用する機会が多いことを十分自覚し、交通ルールを遵守し、安全運転に努めます。

## 6. 会社や会社財産との関係

### 知的財産権の適切な取扱

全ての業務の遂行において扱う技術、著作物など第三者の知的財産権の大切さを理解し、その権利を尊重し、適切に取り扱います。特に、インターネット上から情報やソフトウェアをダウンロードする時は、著作物などの権利侵害に十分注意致します。

### 就業規則の遵守

常に就業規則および会社の内規・基準・マニュアルないしは会社の命令を遵守し事業の発展に努めます。

### 企業秘密の管理

企業秘密（ノウハウ、財務情報、顧客リストなど）は適切に管理し、会社に無断で社外に開示・漏洩しません。企業秘密を社外に開示する場合は、機密保持契約を結ぶなど、予期せぬ漏洩の防止に努めます。また、他社の秘密情報に関しては、盗用したり他社から許された目的以外に使用しません。

### 会社資産の適切な使用

会社資産を効率的に使用し、個人的な目的で使用しないよう適切に管理します。

### 利益相反禁止

偽りの申告による手当の取得、会社資産や物品の私的利用、情報の不正転売、常識を逸脱した贈答の授受など、自らの利益のために会社やお客様の利益を不当に害する行為は行いません。

### 情報システムの適切な使用

事業活動にともなって取り扱う個人情報や顧客情報は、守るべき最重要となる情報資産であると認識し、会社の定める情報セキュリティ方針に則って、情報システムの保護と利用のルールを遵守します。

## 7. 附則

### 本ガイドラインの適用範囲

本ガイドラインは、株式会社アビストの役員および社員に適用します。なお、社員には契約社員、嘱託社員、臨時社員、および当社が受け入れている派遣社員を含みます。

### 本ガイドラインの改廃

本ガイドラインの改廃についてはコンプライアンス委員会での検討後、社長の承認を得るものとします。

### 相談・申告窓口

- (1) 本ガイドラインの内容や解釈に関して疑義が生じた場合の問合せ窓口は総務部とします。
- (2) 本ガイドラインに違反する行為または違反のおそれのある行為については、これを発見した場合またはみずから行った場合を問わず、速やかに所属長または総務部のいずれかに報告しなければなりません。
- (3) 報告者は、報告したという事実により何ら不利益を被ることはありません。

### 罰則

本ガイドラインに違反する行為をした者や本ガイドラインへの違反を放置した者については、就業規則その他の社内規程に基づいて処罰するものとします。



